

『PCA 医療法人会計シリーズ』Ver.1.0 Rev.6.16

プログラムでの主な機能強化・仕様変更点

TZY_2507

主な機能強化・仕様変更点は以下の通りです。

操作等の詳細については、オンラインヘルプ、またはPDFマニュアルをご覧ください。

◇『PCA Hub 経費精算』に関する機能強化

- 。「経費精算へのマスター転送」において、「税区分」の転送時に経過措置用の税区分を含めて転送できるようになりました。
- 。「経費精算仕訳の受入」において、仕訳データ受入時に経過措置用の税区分に基づく税額を再計算できるようになりました。

◇第六世代税理士用電子証明書に対応

- 。「電子申告」の電子署名において、第六世代税理士用電子証明書に対応しました。

◇FinTechサービスの起動制限緩和（PCAクラウドのみ）

- 。「システムツール」の「製品サービスライセンスの追加」が不要となり、「デジタルデータ処理」－「FinTechサービス」が表示されるようになりました。

◇PCA IDに対応（PCAクラウドのみ）

- 。「システムツール」の「連携アカウントでログオンの有効化」にて、「PCA ID」の有効化が行えます。
- 。「システムユーザーの登録」の「一括新規」で「PCAアカウントから選択する」を利用し、システムユーザーを追加または新規作成することが可能です。

◇PCA クラウド など複数企業の管理をされているお客様向け機能強化

- 。「システムツール」に「リカバリ時の表示メッセージの管理」を追加し、ユーザーID情報が一致した場合に動作選択メッセージを表示できるようにしました。

◇前年度領域が不正な場合のメッセージの表現緩和

- 。「データコンバート」において、前年度領域が設定されている場合はクリアし、「会法人基本情報の登録」で前年度領域の再設定が必要な領域がある旨をメッセージで表示します。
- 。「データ領域のリカバリ」および「データ領域の一括リカバリ」において、前年度領域がクリアされる場合は「法人基本情報の登録」で前年度領域の再設定が必要な領域がある旨をメッセージで表示し、そのメッセージアイコンを変更しました。

◇機能強化（全般）

- 。電子帳簿保存法の改正に合わせ、「法人基本情報の登録」の「電子帳簿保存」タブの内容を「優良な電子帳簿」「その他（一般の電子帳簿）」に変更しました。
- 。「取引明細の受入」で「入金」「出金」の選択を追加しました。
- 。「クイック受入の初期設定」「クイック仕訳作成ルール登録」「取引明細仕訳作成ルール登録」にて、摘要の設定項目に「空白で区切る」のチェックボックスを追加しました。
- 。「振替伝票入力」「決算整理仕訳入力」にて、摘要入力欄を半角34文字（全角17文字）で折り返しにする機能を追加しました。
- 。「FR形式XBRL出力」にて、国税タクソノミ（Spec2.1 Ver1.0）の出力を廃止しました。
- 。「汎用データの受入」で「振込先マスター」の顧客コードを空で受け入れる場合、0詰めではなく空のまま受け入れるように変更しました。
- 。「システムユーザーメール設定」「システムユーザー連携アカウント設定」で、メールアドレス登録時にRFC違反しているアドレスを登録できないよう変更しました。
- 。「電子申告」で自動ダイレクトを利用する際、チェック漏れを防ぐため「私(当社は、申告した納税額について、自動ダイレクトを利用し、選択した口座からの引落としにより納付します」を赤字に変更しました。